

投資

バーモント、テキサス州 アメリカ合衆国

1964年03月14日

1 …あなたと人々と一緒にこれらの数分を過ごすために。そして、私はここにいるためのこの招待とあなた方すべての協力のゆえにピアリー兄弟に感謝しています。

あなた方の素晴らしい街への3回目の訪問だと思います。私たちはいつもこの人々は友好的であると感じ、あなたを知っているかどうかにかかわらず、いつも話したりものをくれたりしています。私はいくつかのビジネスの場所を訪れました、そしてなんとも素敵でした。いつも寒い北部とは違うようです。彼らは私が入ってくるのを見て、あなたを待って外に出ます、そしてそれだけなのです。しかし、「ありがとう」と言う人がいない場所にめったに行くことはないですよ。また来てくださいね、またお会いしましょう！」私はそれが好きです。

2 それから、私が思うには、ここでピアリー兄弟は、私が彼と呼んでいるように、ただ…私は彼のお父さんより年上です、だから私は彼をピアリー兄弟と呼ぶことができると思います。彼と一緒に学校に通った息子のビリー・ポールの紹介だけで、私たちはその少年をほとんど知りませんでした。しかし、この都市またはその近くにテレビの手の届くところに誰かがいる場合、それは終わりの日に失われます。ピアリー兄弟がキリストに人々を集めようとするあらゆる努力をしなかったからではありません。彼は確かに一つの岩を覆ったままにしておかなかった。そして、私はこれがここにいることの大きな特権であるとみなしています。

ピアリー兄弟が私に言ったとき、私が彼が持っていた「小さな宴会で話してもらえますか」、彼のビジネスの同僚の何人かがここにいたことでしょう。まあ、私は確かにスピーカーではありません。私はそうだと主張していませんが、そうだと思っていました。そのような招待を受けた後、彼のビジネスの同僚に話しかけることは、私にとって名誉です。

3 私は世界中を旅する特権を持っています。そして、私は全福音ビジネスマンのチャプターで多くの場合話します。そして、これは短い時間の交わりなので、一度かわいいことを表現したいと思います。そこで話していた後に、そこにある人がいました。みんなビジネスマンでした。それで、外にある人が来て、彼は言いました、「あなたは説教者ですよ？」

そして私は言いました、「はい、そうです。」

彼は言いました、「あなたはこれらのビジネスマンの周りに何のため一緒にいるのですか？」

私は「私はビジネスマンです」と言いました。

それで彼は「ああ、そうなんですか？」と言いました。

そして私は言いました、「はい、私はビジネスマンです。」

「あなたはどんなビジネスをしているのですか？」と言いました。

そして私は「永遠の生命保証」と言いました。

そして、彼は私を正しく理解していませんでした。私はそれを速く言いました。彼は言った、「ああ、永遠の生命保険」。私は保険とは言ってはいません。私は保証と言いました、そして彼は…しかし、私は彼に決して言いませんでした。そして彼は「永遠の命」と言いました、「私は知りません。今まで聞いたことがないと思います。」

私は「それは残念だ」と言いました。

「まあ」と彼は言った、「本部はどこですか？」

私は「天国」と言いました

私はまだその仕事をしています。礼拝が終わった後、今夜、あなたとそのポリシーについて話したいと思っています。私は自分の仕事に非常に熱狂しています。そして、だから、私は今、「保険」とは言いませんでした。「保証」と言いました。

4 保険は大丈夫です、理解してください。覚えています…もちろん、現時点では何も持ってはいません。

おぼえているのですが、結婚した後、ある日、妻と私は家で座っていました。そして、私の良き友人…私の兄弟は西部南部の保険のセールスマンです。この青年はプルデンシャル保険のセールスマンでした。私は彼と一緒に学校に行きました、とても立派な少年でした。彼の兄弟はアッパールームを執筆しています。彼はバプテストの牧師だと思います。彼はアッパールームと呼ばれる小さな新聞に記事を書いています。とても立派な人達。それで彼はある日私に会いに来て言いました、「ビリー、私はあなたは一度保険に嫌な思いがあると聞きました。」

そして私は「はい」と言いました。

彼は言いました、「それはあなたにそれらに対してに少しつらい感情にさせましたか？」

私は「いいえ、そういうことではないのです」と言いました。

彼は言いました、「私はあなたと一緒にそのポリシーについて話し合おうと思って来ました、ビリー」

そして、私は「まあ」と言いました。「ウィルマー、ありがとう」と言いました。でも私は保証を持っているから。

そして彼は言いました「ああ、ごめんなさい」

そして、妻はまるで私が偽善者であるかのように私を見回しました。彼女は私が何ももっていないことを知っていました。彼女はただ驚いて私を見たのです。私は言った…

「ああ、申し訳ないビリー」と言いました。彼は私がそれを私の兄弟、ジェシーと持っていたと思ったに違いありません。そして私は言いました…

私の妻は私を見ていました。そして彼は…私は言いました、「はい、私には保証があります。」

そして彼は言いました、「どこの会社とですか？」

そして私は彼に同じことを言いました、「永遠のいのち」。

そして彼は「ああ」と言いました、「それだけですか？」

そして私は「ええ」と言いました。私は持っています：祝福された保証、イエスは私のものである！ああ、なんて栄光の神の前兆なのでしょう！私は救いの相続人であり、神によって購入され、彼の霊から生まれ、彼の血で洗い流されました。

彼は言いました、「ビリー、それはとても素晴らしいです。ありがたいです。しかし、それはあなたをこの墓地に入れません。」

「でも」と私は言いました。「それは私を墓地からだしてくれる心配していません…」ええと。ええ。それに私は入ることを心配していません。それから出てきています。

礼拝の後に、ポリシーについてまだ話したいのです。きっとそうだと思います。

5 さて、私は通常、御言葉を読むとき、皆さんに立ってもらいますが、今夜は、あなたがたが立つのはかなり難しいので、今夜はそれを省くことにします。しかし、みことばを読む直前に、みことばの著者に話しかけるのですから、少しの間、頭を下げて祈りましょう。我々がある種冗談を言い合っていたりしたので、ガードをおろしたりあるいは、我々が言うところの「髪を下ろした状態」だったのです。それでは、聖なる側に行くようにし、そして誠意を持って、みことばを開くにあたり、私たちの心を天国に向けましょう。さて、手を動かすことができる人なら誰でも聖書を開くことができますが、理解を開くことができる人は誰もいないのです、しかし偉大なる聖霊がおられるのですだから、私たちで彼に話してみましよう。

6 私たちの天のお父様、私たちは今夜、この人々のグループ、永遠の側と集まり、この素晴らしい交わりを持つことで間違いなく喜びにあふれています。そして、今夜これらのテーブルの周りに座って、お互い、ビジネスの同僚、そしてクリスチャンを見渡しながら、また会う機会が来ることを楽しみにしています。私たちは皆そこにいることになるかと信じています、その素晴らしい子羊の婚宴に皆で出席し、王が出て来て、私たちの目からすべての涙を拭き取り、「よくやった、良い忠実な僕たちよ、主の喜びの中に入りなさい、それは天地が創られる前からあなたのために準備されているのです。」

主よ、もしにあなたを知らない人がいるとしたら、私は今夜、彼らが考え方を変える原因となる何かが行われるか、または言われるようにと祈ります。それがここにあるのか、テレビのメディアなのか、これからテープが出ていることによることであるのかは関係ありません。

今私たちと一緒に祝福し、あなたの御言葉の朗読を祝福してください。私たちの心と考えをこの人生の終わりに向けてください、そしてその時に何がアウト状態になるか。父よ、私たち全員がこの世を去らなければならないと確信しています。私たちは人間です、そして、永遠の方、これを超えて私たちに命を与えることができる唯一の方に目を向けさせてください。御子イエス・キリストの御名によって、おねがいます。アーメン。

7 少しの間、あなたの注意を神の言葉の朗読に引きたいと思います。マルコによる福音書から読み始めたいと思います。第10章の第17節から始めます。

そして、彼が道に出て行ったとき、彼に1人が走って、ひざまずきました…そして、彼に尋ねて、「良いマスター、私が永遠の命を受け継ぐために何をすべきでしょうか?」と尋ねました。

イエスは言われた、「なぜわたしをよき者と言うのか。神ひとりのほかによい者はいない。

いましめはあなたの知っているとおりである。『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。欺き取るな。父と母とを敬え。

すると、彼は言った、「先生、それらの事はみな、小さい時から守っております」

イエスは彼に目をとめ、いつくしんで言われた、「あなたに足りないことが一つある。帰って、持っているものをみな売り払って、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになろう。そして、自分の十字架を取って、わたしに従ってきなさい」。

すると、彼はこの言葉を聞いて、顔を曇らせ、悲しみながら立ち去った。たくさんの資産を持っていたからである。

8 私たちがこれからテキストと文脈を引き出すよう努めるゆえに、主が御言葉に彼の祝福を加えてくださいますように。今、ビジネスパーソンと一緒にいることをテーマに考えています。ビジネスパーソンは常に良い投資に興味を持っていると思うので、これからのテキストを「投資」と呼びます。

優れたビジネスマンは常に、優れた健全な投資を求めています。そうでなければ、彼は良いビジネスマンではありません。彼は本物である何かを探する必要があります。

そして、私が先ほど紹介した永遠のいのちのポリシーについて、ビジネスマンとして自己紹介したとして招待についてお話ししたいと思います。そして私にはビジネスがあります。それについて少しお話ししたいと思います。そして、私がここに書き留めたいいくつかの聖句とテキスト、私はこれらを少しの間使用したいと思います、これらのノートも。

ギャンブルするのは良いビジネスではありません。誰もが知っているように、そのギャンブルはチャンスを使っているから、良いビジネスではありません。あなた方はほとんどあるいはまったくギャンブラーを見たことがない…ある日彼は金持ちになり、次の日彼は物乞いをしています。ですからギャンブルをすることはあまりにもチャンスに頼りすぎることとなります。私は、ギャンブラーは単にその瞬間に生きているだけで、未来を楽しみにしていないと思います。そうでなければ、彼はギャンブルをしないでしょう。

9 そして、私はこれらの未確認のビジネスによるこれらの一晩で金持ちになるという投資のいくつかを信じていません。さて、だれでも良いビジネスマンは、おそらくあなたのようなものに投資や収入にそのような機会を与えないでしょう。そして、あなたはそのいくつかのすぐに金持ちになるというようなものに投資するでしょうか。そして、それは正体不明です。誰かが、ある種のアイデアを思いついたとします「私たちはここにある会社を設立しました」そこには何の背景もありません。私はそのような会社に投資しようとするのは良い、健全な思考の人ならば愚かだと思えます。

なぜなら、私には一度、そのようなことを試みた友人がいました。そして、彼がそうしたとき、彼は彼が持っていたすべてを失い、彼の人生のすべての収入を失いました。引退する準備ができていることについて、そして彼は「まあ、私はこのチャンスを取るつもりです」と考えました、なぜならその男は彼が話していることを知っているようだったからです。しかし、調べてみると、その会社は単なる偽会社であり、株も何もないので、かわいそうに彼は持っていたすべてを失いました。

だから私は、もし人が良い投資をしたいのなら、彼はまず自分の会社、または彼が投資しているものをチェックし、彼が何をするかを見極めるべきだと思います。私は賢明な人なら誰でもそうするだろうと思います。

10 そして繰り返しますが、先に進む前に、お金をポケットに入れておくことはお勧めしません。多くの人々は「私はそれをポケットに入れます、そして私は…そして私はそれを手に入れました」と言います。しかし、あなたはご存知のように、あなた方はビジネスマンとビジネスレディです。そのような形の考え方はしません。そして、それは盗まれる可能性があるので、良いことではありません。

流通させるのが最善です。主が言われたように、彼はかつて、非常に多くの才能を非常に多くの人々に与え、それから彼は…彼らはそれに投資しました。そして、良い、健全な投資をした人々、彼は彼らに配当を与えます。しかし、一人の男が言った、「私はそれをただとっておきました。私—チャンスを取りたくなかったのです。私——それをポケットに入れました。または、私はそれをどこかに埋めました。」それから彼は彼に与えたものを取り、より多くの配当を引き出したものにそれを与えました、そしてより良い投資にしました。そして、それが私たちの主のやり方です。

11 さて、もしあなたがあなたが確か何かに投資するつもりなら、あなたはそれが正しく報われることが証明されているいくつかの良い、信頼できる会社を見つけるでしょう。さて、それは良い、健全な投資です。会社をテストした後、あなたはその会社の背景を知り、この会社と取引をした誰かと話し、そして全員の証言を聞きました、「それは100パーセントです。彼らは常にきっちりと配当金を支払っています。そして、その背後には大きなリソースの資本があり、その会社は破綻することはありません。」そして、それは良い、健全な投資です。そして今、人生を通して、人々はそれを教えられてきました。

12 さて、今夜私たちは聖書で、ヘブライ人の若い青年について話しています。それは裕福なタイプの若者でした。彼は良家の出身だったに違いないです。彼の証言は、彼が良家の出身であることを示していました。彼は聖書の中で「豊かな若い支配者」と呼ばれていました。今夜、少し変えてみます。「裕福な青年実業家」と言います。彼はビジネスを持っていて、ビジネスに興味を持っていたからです。そして、間違いなく彼の父親は大成功した実業家であった、そうでなければ彼はおそらく彼が持っていたものを持っていなかっただろう。しかし彼は実業家となるように育てられていたのです。

そして彼はガリラヤのこの若い人、ナザレのイエスと言う名前のこの若い預言者に何かを見ていました。間違いなく、彼は彼の司祭が彼について、またはおそらく彼に反対して話すのを聞いたでしょう。しかし、彼が主イエスを最初に垣間見たとき、彼について他のどの人とも違う何かがあるのが分かりました。

そして、私はこれは、クリスチャンとして、本当に変わっていないと言います。私たちはその土地に世界中の偉大な神学者を抱えており、何千年もの間彼らを私たちに紹介することができる信条を持っています。そして、彼らはそれらの信条と、確立された教会で教育を受けています。しかしそれは今でも、私が今晚話しているポリシーとは違います。私は永遠の命について話しているのです。

13 そして、この若い人は、彼が教会のメンバーであったことを知っていましたが、イエスの中に何か違うものを見ていました。ですから、彼はイエスを見つけ、彼が何をしていたかを見たときに、投資する機会が与えられました。そして、彼の聖書を読み、イエスの中で、彼の預言者たちが彼の教会で読んだことを聞いたこと、そして彼らが何であったかを見ました。そして彼は間違いなくそれを研究していました。そして、人々の中に行くとされるこのナザレのイエス、預言者を見たとき、彼は聖書の中で彼を特定する何かを見ました。

そして、今日、それはあまり変わっていないと思います。聖書の読者と聖書愛好家は、私たちが知識人を実際に垣間見ると、イエスが何であったか、そしてイエスが何であるかを知ると、私たちの全体的な態度が変わります。どれほど立派な人でも彼のような人は一人もいません。私たちは彼が…私たちは彼があまり学校に行かなかったことを知っています、そして彼は普通の男のように話し、普通の男のような服装をして、普通の人たちと一緒に暮らしました。しかし、それでもこの男については目立った何かがあり、それがこの若い人の注目を惹いたのでした。それほどまでに、彼が世のすべての富を持っていた、おそらく彼は彼の生涯で必要としそして使ったであろう、そして彼はそれに十分に満足していた。しかし、彼はこの人が未来を見つめて来ていることを彼らに話し、聖書の中で彼自身を特定し、神がその人の中で彼自身を特定したのを見ました。

14 今、誰もそのように生きている人はいません、それまともな思いの中にてしかし、彼がどこから来たのか、彼が誰で、どこに行くのかといつも疑問に思っていたのではないのでしょうか？多くの本が書かれていて、哲学

者は浮き沈みしました。しかし、あなたが誰であるか、あなたがどこから来たのか、そしてあなたがどこに行くのかを教えてください。本は1冊だけあり、それが聖書なのです。それが唯一の本です。私たちが持っているすべての素晴らしい本、あなたはそれらすべてをゴミ箱に捨てることができます。これが真実です。これに反することはどれも正しくないのです。「天地は滅びても私の言葉は滅びることはない。あらゆる人を偽り者としても、神を真実なものとするべきである。」

そして、あなたがあなたの前にはっきりと何かを見たとき、そしてその時代のための約束された聖句は、メシアはどうあるかということでした。そして、この若者は神によって識別されたそれを見たので、イエスは彼が今まで見た他のどの男とも全く異なったものになっていたのです。つまり、彼には機会が与えられていました。

彼が主イエスを見つけ、そしておそらく彼の集会と彼の礼拝で彼を見たとき、彼は彼に走って行って彼の足元にひれ伏し、彼のアプローチの態度が正しかったことを示しました。

そして、彼は言いました、「よき師よ、永遠の生命を受けるために、何をしたらよいでしょうか」さて、それが問題なのです。彼のお金ではなく、「あなたの教会に参加できますか、師よ？それとも私はあなたの組織に所属することができますか？」しかし、「永遠の命を得るためには何をしなければなりませんか？」それが問題でした。

そして彼はそれを受け取る機会を与えられました、しかし彼は急いで決断を下しました。彼は…それを断ってしまいました。それに付随するものが何であるかが分かった時、彼はそれに対して興味がありませんでした。彼はこれをするためには彼の人気をあきらめなければならないことに気づきました。なぜなら、イエスはその中で不人気で、信じられていなかったからです。私は、急いで言うとなると人々の90パーセント、あるいはおそらく95パーセントがそうだったとのです。彼は「悪霊のような人」として信じられず、多くの人から「ベルゼバブ」とさえ呼ばれていました。

それでも、聖書は完全に彼を特定しています。彼は彼らに再び言及し、「聖書の中に永遠の命があると思っ調べているが、この聖書は、わたしについてあかしをするものである。」

15 このヘブライ人の若者は、ある家で育てられ、聖書を知っていました—その巻物ははっきりと伝えていました。神であるエホバはこのように言われました、「もしあなたの中に霊的な者、または預言者がいるなら、主である私が私自身を幻の中で彼に知らせるであろう。そして、彼の言ったことが実現したら、その預言者の言うことを聞いてください。私は彼と共にいる。しかし、それが実現しなければ、彼の言う事は聞かなくてもよい。」

それはわかりやすい言葉です。それは健全な思考です。もし彼がそれを言ってもそれが起こらなければ、それは嘘です。神がそれを言われたのではありませんでした。しかし、彼が言って、それが起こるならば、それは真実です。そして、真実よりもより真実なものはありません。

それで、この若者は主イエスの中でこれを見て、彼がこの永遠のいのちへの鍵を握っていることを知っていました、そして彼はこの永遠のいのちを望みました、しかし彼は彼の投資をする機会を断りました。彼はそのような投資には興味がありませんでした。が…

彼はイエスが神の子であることをよく認識していました。完全に識別されています。処女が妊娠し、息子を産みました。彼はメシアがすることになっていたすべてのしるしを行ったのでした。

しかし、彼を受け入れるために、彼は彼の伝統から離れなければなりません。彼はそれに背を向けなければなりません。

16 私たちはそれを…このユダヤ人の少年にだけ貢献したいのですが、今日に同様の事が気が付かなければならないのはあまりにもひどいことです。それは偉大なる価値なのです。私たちは今日の教会に貢献できます。そして、多くの場合、彼ら自身を信者と呼ぶ人々は、この若い支配者に求められたように永遠の命のポリシーを持つためにこの世のものから離れる必要がありながらも彼ら自身は喜んで離れないのです。しかしその後、我々も、それは聖句によって良く認識されていて、そのポリシーは今もだれでもそれを受け入れる者に与えられているのです。

私が言ったように、彼はイエスの内にある何か、誰も持っていなかったものを見たのです、しかしその価値は彼がその値を支払うことを望まなかったほど高かったのです。

それは、今日も同じです。私が信じているように、今夜、私はメソジスト派、バプテスト派、長老派、ローマカトリック教、正統派ユダヤ教徒、仏教など、さまざまな宗派と話しているかもしれません。それは都市のビジネスマンです。しかし、実際に、あなたが自分の目で何かを見たとき、聖書が真実であると特定することができます。私たちは最も不合理な人間たちです。もし私たちが永遠の命に興味があるなら、それを断るのです。それはこの青年がしたような早急な決断だったのです。多くの場合、私たちの聖職者でさえ、これと同じように緊急に間違いを犯しますが、信条の洗練された学者は、それをAからZまで知っています。しかし、覚えておいてください、その時代のそれらの司祭たちは、AからZまでの巻物も知っていましたが、彼らはこの若者が見たものを見ることはできませんでした。

そして彼はイエスが永遠のいのちを与えることに興味がありました。しかし、彼がそれが彼に何がかかると知っていたとき、彼は興味がありませんでした。

17 ご存知のように、聖書は、この時代に私たちが生きていますと教えています。ここで私たちの最も親切なピアリー兄弟が私たちに説明したように、彼はそれが終わりの時にあると信じていました。私は確かに、それを心から信じています。私は聖書がそれを特定していると信じています。

科学がそれを特定していると私は信じています。科学者は、「深夜まで3分です」と言っています。…私たちがテレビやラジオで見ている私たちのプログラム、そして私たちの人々がどのように行動しているか、それは…

私がここまたはどこかで発言したとき、それが私に、彼らがしているすべてのことを思い起こさせます。それは私が夜に墓地を通り抜けて口笛を吹き、彼自身を恐れていないことを自分に思わせるようにしようとしている少年を思い出しますが、彼はそうです。

それは、今日行っているすべてのこと、そして人気のあるすべてのことを続ける問題です。私たちは、時が近づいていること知らない人々に考えさせようとしていますが、私たちはそれがわかっています。私たちの科学者たちはそれを知っています。私たちの…国防総省は知っています。すべて、私たちは皆、起こるべきと定められていることを知っています。あなた、あなたはそれを大気の中で正しく感じることができます、そして私たちはそれがかなり近くなっているのを知っています。

18 そして私たちの聖書は、黙示録の第3章で、この時代の教会はこの金持ちの若いヘブライ人の青年のように「豊かになって何も必要としない」このラオデキア時代と同じように特定されることを教えてくれます。もしここにミニスターや聖書の読者がいたら、これはラオデキア時代です。そして、それは言っています、「私は金持ちで、女王とされているので、何も必要はありません。」「あなたは惨めで、貧しく、盲目で、惨めで、裸で、あるのにそのことに気が付いていない」と言いました。この聖書の引用の悲しいことは…

通りで人や牧師のような人を見たとしたら、それは盲目で裸でみじめで貧しい人々だったとしたら、それは恐ろしい光景でしょう。誰もいませんが、彼らにできる限り速く走って言うのです、「友よ、あなたは裸です。あなたがしなければならない - あなたはしなければなりません...あなたは露出しています。さっさと入ってきて下さい、そして - 私にあなたにいくつかの服をあげさせなさい。そして、私はあなたをどこかに連れて行き、私が医師を連れて行けるかどうか、彼らがあなたの視力を回復できるかどうかを確認します。」またはその人のために何かしようとしてみます。

19 もしあなたがそのような人に出会って、彼らがあなたに振り向いて、あなたには関係ないと言うなら？彼らはその状態にあることさえ知りません。さて、あなたがその方法で、それを知っていれば、それほど悪くはありません。しかし、あなたがその状態にあり、それを知らない場合、それは悪いです。彼らには言えません。

そして、すべての聖句は成就されなければならないので、この聖句は成就されなければなりません。聖書はこれが終わりの時の状態であると言いました。そして彼らはイエスを断りました、そして彼は教会の外にいて、入ろうとしました。この若いヘブライ人と同じように、単純にそれを断ったのです。そして、これは、終わりの時に「クリスチャン教会」と呼ばれた異邦人教会、花嫁教会でしたが、彼らはこの若いヘブライ人のビジネスマンが彼を断ったのと同じ理由で彼を外に出しました。その代価は大きすぎました。彼らはそれを受け取ることができませんでした。

20 聖書はここで彼らは「豊か」であり、「何も必要としない」と言いました。この少年は金持ちで、何も必要としませんでした。「私たちは素晴らしい秩序を得た素晴らしい宗派です。私たちは兄弟愛を持っています。私たちはこれ、それ、またはその他すべてを得ました。私たちは何百年もの間信条を持ってきています。私たちはしっかりしています。何も必要ありません。それについては何も言わないでください!」

まあ、それはこの若い人がとったよりも傲慢な態度です。彼はそのような態度は取りませんでした。聖書は、「イエスは彼を見、彼を愛した」と言っています。

今日、もし私たちの混乱と世俗のすべての真っ只中に、それでも私たちのクリスチャンとしての仕事を保持しようとしているのは、ミニストリーとしてフィールドに留まるように迫っているのはしているのは神の愛でなければ何なのでしょう。それは同じではないかと思えます。ここで私たちは彼がドアをノックして入ろうとしているのを見つけていますから。今、私たちはこれらのものを見いだしています、それらは時代を超えてすべて、それはこのやり方でした。

21 さて、時間を節約するために、ポリシーについてもう一度話し、一時的にそれについて概要を説明します。

今、この裕福な青年は、彼は彼の教会に加わることを求めませんでした。彼は教会に属していました。それは証明されていました。

イエスは彼に言われました、「戒めを守りなさい。あなたはそれを知っています。姦淫してはならない。盗んではならない。偽証をするな、詐欺な。そして、そしてあなたの父と母を敬え」

そして、この若い人は、彼が、私たちが今日呼ぶものだけでなく、ある立派で文化的な青年だったので。彼は立派なタイプの青年として、良家で育ちました。彼は言いました、「マスター、私は子供のころからずっとこれらを守ってきました」ほら、それは、彼の両親がいい親であることを示していました。彼は戒めを守ることを信じていた教会に行っていました。しかし、それでも教会では、戒めを守りながら、彼がイエスの中で見たものにまだ答えはありませんでした。彼は知っていました。

私たちの信条と私たちの教会で、そして戒めを守ることは、私たちに永遠の命を与えないことを。その時にそれはしませんでした、そしてそれは今日もそれではないのです。あなたがしなければならぬにかあるのです。

22 さて、それは彼が教会の会員ではなかったからではありません。彼が道徳的に正しくなかったからではありませんでした。彼は道徳的には正しかったのです。

しかし、私たちは教会のメンバーになることができ、道徳的に正しくても、それでも永遠のいのちを得ることはできません。みことばを知らないのであれば。彼らの一部は神学者、学者、そして日曜学校の教師、聖書の説明者ですが、それは何の意味もありません。サタンはその聖書を私たちの誰よりもよく知っています。聖書は言っています、「彼を知ることは命である」と御言葉を知ることではなく「彼を知ることは命である。」サタンも信じて震えています。しかし、私たちは、私たちの古い命から、キリストに来る新しい命まで、死、埋葬、そして復活の経験を持っている必要があります。聖霊によってのみ新しい命がもたらされるのです。

23 さて、これらの人々の何人かを時代を超えて調査し、それがこのポリシーを保持し、それが報われるかいかを見てください。それから冒頭でお伝えしたように、お知らせしておきたいのは、それが価値を生むのかいなかについて何が起こるのかを見出すために投資を始める前に誰かに相談すべきだということです。あなたはビジネスをするときはそうすべきです。このポリシーの保持者の何人かについてお話ししたいと思います。

今夜、創世記に戻って、ノアという名の預言者に注目したいのです。彼はあらゆる方法で試みられたが、サタンが彼にそのポリシーをあきらめさせるために彼を試みることができるあらゆる方法で、。しかし、ノアは生命の方針である神の約束を守りました。なぜなら、神は箱舟の外のすべてが破壊されると神から言われたからです、そしてそれは彼の時代の現代的な考え方の人々には一種の異常に見えました。

24 それが今日福音がなせることなのです。神が普通ではないので、異例になるわけです。彼の御言葉は私たちが時々それを解釈しているものとは異なって解釈されています。

しかし、私が前に言ったように、神には御言葉を解釈する人を必要としません。彼は彼自身で解釈をします一彼が彼がするだろうと言ったことが起こることによってです。彼は彼自身の言葉を解釈します。彼は私たちの解釈を必要としません。それは、私たちの解釈は、私たちがそれと一緒に置いた私たち自身の人工的な考えです。

神が「光あれ」と言われた時、光がありました。それに解釈は必要ありません。

神は「処女が身ごもる」と言われました、そして彼女は身ごもりました。それには何の解釈も必要ありません。

イエスは言われました、「人の子はエルサレムに上って、罪深い人の手に渡される。彼らは彼を十字架につけ、3日目に彼は蘇るであろう。」それに解釈は要らないのです。

彼は言った、「しばらくして、世はわたしをもう見ない。けれども、あなたがたはわたしを見るであろう。なぜなら、わたしはあなたと一緒に、あなたの中でさえ、終わりの時まで、成就するまでいるであろうから。彼はここにおられます。それにはなんの解釈も必要ありません。それは彼の約束です。

「私がする業を彼がするであろう。私を信じる者は、私がする業を彼もするであろう。」それはヨハネによる福音書14章12節にあります。そして、私たちはそれが真実であることを知っているのです、それはいかなる解釈も必要としません。

25 ノアは、神の言葉とともにそれを握りました。彼は生命保険、生命保証の契約者だったからです。彼はそのポリシーを保持していました。そして彼はポリシーの代理人であり、彼は至る所に出かけていました。しかし、それは人気がなかったのも、誰もそれを手に入れることができず、自分の家族だけでした。彼は…彼の一彼のポリシーはその人々にとってすべて時代遅れのようでした。それはその時代の科学的推論に反しているようでした。「天から降る雨。」

未だかつて地上に雨が降ったことがなかったのです、覚えていますね。世界はまっすぐに立っていました。今日、それがかつてそのように立っていたことを証明できます。そして神は地上の泉から灌漑を通して植生に水をやった。

26 さて、その時代の科学者は今日それを構築することは不可能なスフィンクスやピラミッドなどを構築したため、おそらく今日よりもはるかに優秀だったことでしょう。私たちにはそれを行うことができる力はありませんが、彼らはそれらを構築しました。そして、おそらく彼らはレーダーや彼らがその時代に持っていたもので月を撃ったと思います。

イエスは言われました、「ノアの時代のように」別の文明はそれに例えられました、「それは人の子が来るときにもそうなるであろう」。

最近、ここオールドメキシコで現代の水道を掘り起こしましたが、その歴史はまったくありません。ほら、それは過ぎ去った他の時代からのものだったのかもしれない。

イエスは言われました、「その時代と同じように」賢い人、知的な人。しかし、もしそうであれば、人々に提供される生命のポリシーがあることでしょう。彼はそう言われました。

27 また、ノア、彼には説明できなかつたのかもしれない。科学が言ったように、「私たちはその道具を取り、そこに雨が降っていなかったことを証明することができます。先生、あなたの頭は狂っています。」しかし、彼は彼に話しかけた静かな声が神であることを知っていました。

ですから、もし神が「上から水が出てきた」と言われたなら、水はありませんでしたが、神はエロヒム、つまり自己存在される方なのです。彼は全知全能の方なのです。もし彼が「そこに水があるかもしれない」と言われたなら、彼は御言葉を守るためにそこに水を置くことが出来る方です。

28 我々の父、アブラハムは多くの諸国の父なのです。ユダヤ人がたまたま近くに座しているとしたら、異邦人がどのように連れてこられたのかと疑問に思ったとしたらアブラハムは、多くの国々の父だったのです。「そして彼は不信仰を通して神の約束によるめきませんでした。」彼もまた、契約を持っていたのです。神は彼を多くの国の父とすることを約束しました。ヘブライ人の国だけでなく、他の国々の父とされたのです。

注目してください、神が彼に与えた約束は、過激で急速なものでした。彼は75歳で、サラは約束を得る前、65歳でした。しかし、彼は神の御心によってどれだけ長くかかろうと関係なく、義の相続人であることを知っていたので、彼は不信者から離れていました。

おそらく最初の月が過ぎて、彼はサラに「あなたはどう感じていますか?」と言ったことでしょう。

「なんの違いもありません。」

「とにかく私たちは赤ん坊を持つでしょう。神がそう言われました。さあ、赤ちゃんの靴下を編みましょう。」

すべての準備をしなければ。神が私たちが赤ちゃんを持つであろうと言われたのだから。それで解決するのです。」

最初の年が過ぎました。「ハニー、あなたは気分はどうですか？」

「何の違いもありません。」

「まあ、それはそれが最初の月に起こった場合よりも大きな奇跡になるでしょう。」

29 ほら、約束が与えられたとき、彼女は閉経からすでに約10年経っていました。彼らには子供がいませんでした。彼女は不毛で、彼は不妊でした。だから彼らは…しかし、それは神の言葉、約束であったので、彼はまだその契約を保持していました。彼はそれを手放すつもりはありませんでした。そして聖書はこう言っています、「彼は、神の約束を不信仰のゆえに疑うようなことはせず、かえって信仰によって強められ、栄光を神に帰し、神はその約束されたことを、また成就することができるかと確信した。」ですから子供は生まれましたなぜならば、彼がその契約をしっかりとにぎっていたからでした。

ノアはその契約を保持し続けましたそしてそれが彼の命を救ったのでした。それが報酬だったのです。彼の命だけでなく、彼の家族の命。彼らを救うことによって報われたのです。

この永遠の生命保険の別の投資家について話しましょう。預言者ダニエル、私たちが呼ぶとき…すみません、世俗的な表現として。私はここで説教壇でそういうことはすべきでないと思います。それを表現する私の知っている唯一の方法がそれなのです「抜き差しならない状態になった時」ネブカデネザル王はイスラエルの子供たちを彼らが神から離れたために来て連れて行きました。彼らはそうだったのです。未だにすべての生贄を捧げているのです。

30 神が彼らに子羊や牡牛などをささげるように頼んだとき。立派なユダヤ人の男は、太った牛、あるいは、あるいは、彼の腕の下に小さな子羊を連れて、その道を歩きました。贖罪の日、彼の罪のためにそれをささげるために行ったのでした。彼がその子羊を殺したとき、彼は誠実でした、そして、司祭はそれを刺しました。そして彼は彼の手を握って、命が彼の命を救うために取られたことを知っていました。彼はそれに誠実でした。そして、彼が誠実である限り、それは大丈夫でした。しかし、時が来てそれが家族の伝統になってしまったのです。それから神は言われました、彼はイザヤと言う名の預言者を現場に送りました、「あなたがたは、もはや、むなしい供え物を携えてきてはならない。虚しい祭事、薫香は、わたしの忌みきらうものだ。」

私たちが持っているのはそこです。私たちは教会に参加しました。大丈夫です、私たちはそれらのことをします。しかし、あなたはこう言います、あなたはクリスチャンですか？に対して「私はメソジストです。私はバプテストです。私は長老派、ペンテコステ派などです。」それは伝統です。もはやそこに入るには誠意はないのです。彼らは聖句やその物事と協力して動くことをもはやしないでしょう。彼らは自分たちがやりたいように生きるだけです。彼らを牧師が矯正させようとした場合、彼らは彼を追い出します。彼がハリウッドを教会に連れて来ることができないなら、彼らは彼とは何の関係もありません。パーティー、ボードゲームのパーティ、スープの夕食、その他すべて。女性が好きなように振る舞い、不道徳にでも何でも好きなような服装をさせるのです。セックスアピールは現代のトレンドになっています。それは恥ずべきことです。

31 イエスはその女性に言われました。あなたはできる限りの高潔さを持っているかもしれませんが、あなたは裁きの日に姦淫そしてそのような服装をしていたことについて答えなければならなくなります。イエスは言われました、「だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫をしたのである。」そして、あなたがどんなに無実であっても、その罪人は姦淫のために答え、そしてあなたはそれを提示したのです。あなたがたクリスチャン、恥ずかしくないですか？あなたは神の娘のように振る舞うべきです。

そして、あなた方男性、教会のメンバー、執事、さらにはミニスター達でさえ、あなたの妻がそうすることを許すでしょう、あなた方は神の息子でなければなりません。それは彼の父の性質が彼の中にある神の息子の行動のように聞こえません。組織があなたを解雇するので何かを言うことを恐れているのです。そうです。

32 ダニエルは自分の投資を汚すつもりはないことを心に意図していました。彼は意図していました、「世が何であるにせよ、王がどれほど裕福で、彼が世の事柄でどれほど私を振り落とそうとするかに関わらず、私はそれをするつもりはありません。私の投資を汚すつもりはありません。」

クリスチャンの世界よ、永遠のいのちへのあなたの投資を汚さないでください。あなたはそれを汚染させ

るでしょう。

ダニエルはそれをしないことを意図していました。彼はライオンの洞穴に投げ込まれたときに彼の命が救われることによって、それは報われました。彼の投資は本当に報われました。

ヘブル人の子供たちは偶像崇拜はしないと決意していました。そして、火の燃える炉の中で彼らの命が救われることによって、それは報われました。

33 それから、その時代、彼の父によって教えられたすばらしいパリサイ人であるシモン・ペテロが来ます。その日が来たのです—メシアが来たのでした。すべての時代を通して、ユダヤ人はそれを探していました。そして、彼の父親が彼に「息子よ…」と言ったことは疑いもありません。私—私は一度それについて小さな物語を読みましたが、それはフィクションだったかもしれません。それが純正だとは言いません。

しかし、彼は言いました、「私はメシアの来るべき時を探しました。」そして、「私—私は—その時が来る前に、あらゆる種類の主義、間違ったことが起こることを知っています。しかし、息子、ヘブライ人として、私たちはヘブライ人として、私たちの預言者を信じるように教えられています。主の言葉は預言者に、そして彼だけに来るからです。主は言われました、「そのしもべである預言者にその隠れた事を示さないでは、何事をもしない。」そしてモーセによると、このメシアは、「あなたの神、あなた方の同胞に私に似た預言者を立てるであろう」そしてメシアは教育者ではありません。彼は宗派にはなりません。彼は預言者になられ、主のことは彼と共にあるでしょう。」

アンデレはヨハネがそのような来るべき「洗礼者」について話すのを聞いていました。

34 しかし、その後、ある日、シモン自身がこのナザレのイエスのご臨在の中へと歩いていきました。そしてイエスはペテロを見た途端に、「あなたの名前はシモンであり、ヨナの子である」と言われました。彼はすぐに契約を受け取った。彼はそれが救世主であることを知っていました。それは彼の時代の救世主として立証された聖句でした。他の人はどうやってそれを見落としましたのですか？

ナタナエルという人のために山を約15マイル進んだピリピという名前の一人の男が立っていました。彼らは一緒に聖書研究をしていました。たぶん彼は木の下で彼を見つけて祈っていたので、彼らの会話はこのようなものでした。彼は「ナタナエル」と言いました。もちろん、イエスに従う紳士でした。イエスに従う人は誰でも紳士になるでしょう。それで彼は彼が祈っているのを見つけました。彼—彼はしばらく待ちました。しかし、お気づきのように、彼はオリーブ畑などについて決して彼に話してはいませんでした。彼はまっすぐに焦点に行きました、「来て、私たちが誰を見つけたかを見てください：ナザレのイエス、ヨセフの息子」。

「さて、ナザレから何か良いことが出てくるのでしょうか？」と言った。

彼は言いました、「見に来て下さい。」

それは、誰もが他の人に与えることができる最良の答えです。「是非、あなた自身で見出すために来て下さい。家で座って批判しないでください。来て、自分で調べてください。」

35 行く途中の道で、彼らの会話はこのようだったかもしれません。多分ナタナエルは言いました、「知っているよね、僕らは何年もの間、救世主を探してきたよね。ピリピ、私たちがこれをどのように研究してきたか知っているよね。つまり、私は救世主が来るなら、神は天国の廊下を引っ張って、大きな廊下、私たちの大祭司カヤパがいる大きな神殿の庭に階段を降らせてください、そして彼は言うでしょう、私はここにいる。」と言うと信じています。分かりますか？しかし、それは聖書が彼が来ると言った方法ではありません。

彼は聖書が言った方法でのみ来られるでしょう。彼はモーセと同じように普通の人として、羊飼いとして預言者として来られました。

注目してください、そして彼が救世主のご臨在に来たとき、彼は列に並んでいるか、病人、または彼がしていたことのために祈っていました。私たちはメシアが彼を見守っていて、「見よ、あの人こそ、ほんとうのイスラエル人である。その心には偽りが無い」と言いました。

今、あなたは彼がそのように服を着ていたからだと思うかもしれませんが、しかし、覚えておいてください、東洋の人々は皆、似たような服を着ていました、ターバンとひげなど。イエス様も復活の後、彼らと一緒にエマオへの道を一日中歩かれたのを覚えていますね。彼らでさえイエスを知らなかったのです。彼は同じような服装をしていました。

ですから、彼のこの素晴らしいご臨在の中で、彼は「ラビ」と言いました。この立派な若いヘブライ人は言いました、「ラビ、あなたはいつ私を知っていましたか？いつあなたは私を知っていましたか、私がイスラエル人であり、正直に私が持っている評判であることを知っていましたか？あなたは私に会ったことはありません。どうやってあなたは私を知ったのですか？」

そして彼は言われた、「ピリピがあなたを呼ぶ前に、あなたが木の下にいたとき、私はあなたを見た。」

彼は契約を取りました。このもう一人の若い人のように彼の足元に膝まづいてと言いました、「ラビ、あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」彼の名前は今日不滅なのです。

36 小さな女性がいます、近くに立っている女性がおられるので彼女について話すかもしれません。この小さな女性はあなたのようにではありませんでした。彼女は、教会と、彼女が道徳的な罪を犯したことにより敵対されていました。おそらく若い子供たちの数人は、路上にいて間違っていることわられていました。彼女の両親が彼女の面倒を見ていなかったのかもしれませんが。彼女はユダヤ人と異邦人のハーフでした。彼女はサマリア人でした。

私たちの聖書が正しければ、人種はたったの3種類なのです。

そして神様、それが正しいのに、私がもしと言及したことさえも許してください。そうです。それは神ご自身です。「初めにことばがあった。ことばは神と共にあった、ことばは神であった。そしてことばは肉体を取って現れ私たちの間に宿られた。」「昨日も今日も、そしていつまでも変わることがないのです。」

だから、この若い女性は断られていました。

37 まず、ハム、シエム、ヤペテの民について説明します。さて、私たち異邦人は、かれらの時代において異教徒であり、偶像崇拝をしていましたが、ユダヤ人と異邦人は救世主を探していました。そして彼は彼を探している人々にのみ来られます。

今日、時々、私たちは彼を探していると言い、数百万ドルと数十億ドルを物事に費やし、施設や物事を建てます。不思議です。そして、宣教師たちはフィールドで飢えています。私は彼らが靴を履かずに今夜も外で伝道しています。私たちは数百万ドルをナンセンスに費やし、そしてだから、私たち自身の行為が私たちの証をだめにしてしまうのです。

38 しかし、ここでこの若い女性は、私たちが知っているように、彼女はサマリア人でした。イエスはエルサレムの南側にあるエリコへの道を歩んでおられました。しかし、彼はサマリアへの道を行かれ、シカルと呼ばれる町に来て、弟子たちを、食物や食料を買わせるために送りました。そして、彼らが去った間、この若い女性が水を取りに来て、彼は彼女に「水を下さい」と言いました。

そして彼女は彼をユダヤ人であると見て、「あなたはユダヤ人でありながら、どうしてサマリヤの女のわたしに、飲ませてくれとおっしゃるのですか？」と言いました。「あなたはユダヤ人でありながら」と言いました。

イエスは答えて言われた、「もしあなたが神の賜物のことを知り、また、『水を飲ませてくれ』と言った者が、だれであるか知っていたならば、あなたの方から願い出て、その人から生ける水をもらったことであろう。わたしはかわくことがなく、また、ここにくみにこなくてもよいような、水をあげる」。

それで、宗教についての会話が続き、ついに彼は彼女の命につながることになりました。彼は言いました、「あなたの夫を呼びに行つて、ここに連れてきなさい」。

彼女は言いました、「私には夫はありません。」

「あなたが言ったことは真実である。あなたには五人の夫があつたが、今のはあなたの夫ではない。あなたの言葉のとおりである」。

39 さて、その数日前に、その時代の教師とラビたち、もっとよく知っているはずだった男性たちが言いました、「彼はベルゼバブだ。彼は悪霊によってそれをしている。」彼らは彼らの会衆に答えなければなりません。それで彼らはうそをでっちあげて言いました、「それは悪霊です。」

そしてイエスは言われた、「私はあなたを許します。」贖罪はなされていませんでした。「また人の子に対して言い逆らう者は、ゆるされるであろう。しかし、聖霊に対して言い逆らう者は、この世でも、きたるべき世でも、ゆるされることはない。」そして、テトスが聖霊を拒否した後、テトスが神殿を焼き、ユダヤ人をすべて

世界中に散らしたときにそれが起こったことを私たちは知っています。そして、彼らはたった今再び集まっているのは、聖書を成就しているのです。

さて、今この若い女性に注目してください。

それらのユダヤ人がそれが行われたのを見てそれを「悪霊、汚れた霊」と呼んだとき、聖書は「神の霊を呼び、業を行う、汚れた霊、悪魔」を占い師または一部の人のように言った悪人。

40 そして、すぐに、この女性はその違いを知っていました。彼が「あなたの夫を連れてきなさい」と言われたとき。

彼女は言いました、「夫はありません。」

彼は言いました、「あなたが真実を言った、あなたには5人の夫がいたが、今一緒に住んでいるのはあなたの夫ではない」

これを見てください。すぐに彼女は言いました、「師よ、私はあなたが預言者であると見ます。」覚えておいてください、彼らはほぼ500年間預言者がいませんでした。マラキがヘブライ人その時までの最後の預言者でした。「私たちは、救世主が来ることを知っています。これが救世主の身分証明となるでしょう。私たちは、彼が来られるとき、これを彼がされることを知っています。」

イエスは女に言われた、「あなたと話をしているこのわたしが、それである」

そして彼女はその契約を受けました。ええと。そして、彼女はメシアを見つけたという良い知らせを拡散するために、彼女は町に出掛けて行きました。彼女は彼を信じていたので、彼女には永遠の命がありました。彼女はどのようにして知りましたか？彼女は彼によって現実化された聖句の認証をみたのでした。

「私たちは、救い主が来られる時のことを知っています。400年、私たちには預言者がいませんでした、そして彼が来られるとき、それがその現場において次の人になるでしょう。今、彼が来るとき、私たちは彼を知るでしょう、そして彼は同じことをすることです。」

「私がそれである」と言われました。彼女は契約書を取りました。彼女はそれに興味を持っていました。

41 ニコデモ。間もなく、間もなく終わりになります。ニコデモ、ラビ、約80歳の男。彼はイエスについて他の人とは違う何かがあると確信していたので、彼はその契約を望んでいました。それで、彼は契約のために夜にやって来ました、そして、彼はその銀行が営業のために開いているのを見つけました。ええと。

いつでも開いています。宴会でも開いています。外の通りでも開いています。ビジネスを行う準備ができている人、この契約書とそれを保持する人がいる場所ならいつでもどこでも開いているのです。

彼はその銀行が開いているのを見つけました。彼は契約を取りました。

42 今、私たちは、ルカによる福音書第24章49節で、イエスが弟子たちを選んだ後、彼らが永遠のいのちの契約の保持者であった事を知っています。ですから、通常の保険では、彼らは常に配当を支払います。それで彼らはすでにイエスによって受け入れられ選ばれていました、だから彼らはペンテコステの日まで待って彼らの配当を受け取るためにエルサレムに上がりました。そしてそれは、聖霊のバプテスマとイエス・キリストを現す力によって報われました。

43 メソジスト派、バプテスト派、長老派、正教会など、あなたが誰であれ、クリスチャンであると主張しているなら、なぜあなたも同じことをしないのですか？あなたはイエス・キリストを信じて教会の会員になったのです。なぜペンテコステに上がって、配当を受け、聖霊の力を手に入れないのですか！彼らの保険契約者はそれを引き寄せました。あなたがそれを信じ、本当にそれを信じるなら、あなたもそうすることができます。

ペテロが彼らに話して言った、「この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。彼らは何をすべきかを知りたがっていました。彼は言った、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。」(使徒行伝2:38抜粋参照:口語訳)それは約束でした。

だから、今夜はただの告白者で、配当金を一度も引き寄せたことがないならば、今夜なぜ、あなたの契

約を持って行きませんか、少しだけ話させてください。数分間私と一緒にひざまずいて、そうでないかどうかを確認してください。それについて誠実にしてください。あなたが本当に契約を持っているなら、それは今すぐに報われるでしょう。あなたがそれが神の中にあると言うなら、彼はあなたの信仰にその契約を認識なさることでしょう。それが神と御ことばの内にあり、教会や宗派の信条ではなく、しかしただイエス・キリストだけを信じているなら、それは報われるでしょう。彼はご自分の契約を知っています。

44 ちょっとの間のためにもう一人登場人物を連れてきます。別の金持ちのヘブル人が、イエスの死、埋葬、そして復活の翌日にイエス様に出会いました。

ここ、今夜、またはあなたが誰であれ、ヘブライ人がいるなら、十字架につけられている彼は言い訳はありませんが、ここで彼と会うことができるのは、裕福な若い支配者が彼に会ったのと同じです。もしあなたがその契約を望んでいるなら、彼はビジネスをするためにここにおられます。

サウルという名の人がありました、そして彼は彼の民のすべての偉大な教えと伝統の中で教えられていました。ガマリエルが彼の教師でした、当時の最高のヘブライ人教師の一人でした。そしてサウルは、ステパノを石打ちして制裁するほどに、熱心でした、あるいは、清められる、ステパノを証していました。彼は長老から「この男は預言者ではなかった」と言われていたので、ミニスターから彼らにすべての人々が投げ入れる権限を与えられている間、彼は制服を身に着けたまま、彼らのコートを保持しました。この男はただ革新的でしかありませんでした。」そして、彼はポケットに手紙を持っていて、ダマスカスにその契約を保持している者がいると聞いたので、彼は行きました。そして彼らはそれに興味が引き寄せられていて、彼らは本当にことを行っていました。

そして大祭司は彼に言いました、「サウル、あなたは熱心な人です。私からこの権威を取り、そこに行って彼ら全員を逮捕してください。彼らは狂信的であるにすぎず、彼らには何もありません。降りて彼らを縛って、監獄に連れて行きなさい。あなたは彼らを殺さなければなりません、彼らを殺してください、それでいいのです。行って彼らを連れて来なさい。」

サウロは言った、「あなたの名誉に置いて、卿、聖なる父よ、私は行きます。」彼は出かけて行きました。

彼は道を下って、その日の11時頃に街に近づいていた。突然、天から、火の柱が来て、彼を打ちました。そして彼は見上げるために起き上がりました、そして彼の前に火の柱がありました。

45 今、それをあなたに証明するために。彼はヘブライ人であり、彼はそれが主であることを知らなければ、彼は何も崇拜したことも、何も主と呼んだことはありませんでした。そして彼は、ガマリエルのもとでの教師として、荒野を介して彼らを導いたキリストであった神から出た御言葉である主の天使が、光の柱、火の柱の形であることを知っていました。そしてそれが彼を打って、見上げて見たとき、彼はそれをそこで「主」と言いました。さて、彼はそれ以外に何も呼ばなかったでしょう、しかし主と。しかし、ヘブライ人である彼は、それがエホバであることを知っていました。それが彼が啓示を受けた理由であり、新約聖書のイエスは旧約のエホバであったと言えたのででしょう。それが彼の啓示でした。なぜなら彼はエホバを見たからです。そして彼は言った、「主よ、あなたは誰ですか？」

彼は言いました、「私はあなたが強く迫害しているイエスである。」そして彼は契約を取りました。

2人の男性を一緒に比較します。彼らの伝統を守りたかった一人の裕福な若いヘブライ人。納得させられたもう一人の人。彼らの一人は彼を人として見ました、神は死んで罪を取り除くために肉体を取られたのでした。

46 子羊の血と物、命はそこにあり、信者に來ることができませんでした。子羊の命であり、魂がなく、動物の命だったからです。しかし、これは神ご自身でした。そして、私たちはその霊から生まれ、私たちは神の息子と娘であり、私たちのためにいけにえとして捧げられた命です。

2人の男性を一緒に比較します。

神がキリストの中におられたことはそれで立証されたことが分かりました。荒野から彼の民を引き連れた同じ火の柱はそこでその時代ずっと彼らを養ったのでした。イエスが地上におられたとき、イエスは言われました、「私は神から来て、私は神のところに行きます」とそのことを覚えておいてください。彼は子供たちを荒野に連れていかれた火の柱だったのでした。

聖書は、「キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる富と考えた。」と語っています。彼はキ

リストに従うためにエジプトを捨てました。

彼がここにおられたとき、その火の柱は神で、彼の内に神として表されていました。彼は言われた、「もし私が父のわざをしなければ、私を信じなくてもよい。その業が私が何をすべきかを教えてください。私がそれをしなければ、それを信じないでください。しかし、あなたが私を信じられないなら…」

彼らは言いました、「あなたは人間でありながら—あなたは自分を神としている。」

「私が人であるゆえに信じられないなら、その業を信じてください。それらが私を証します。」と言われました。分かりますか？

さて、彼が死に、葬られ、よみがえり、昇られた時、ここで彼が再び火の柱におられることが分かりました。彼は神から来て、神のところへ行かれました。

彼は今でも同じ方です、同じ方なのです。注目してください確かに、彼は同じ方なのです。

そしてパウロまたはサウロはその時、旧約の火の柱である神エホバがご自身をイエスと呼んだことを認識して、彼との契約を取りました。その時彼はその準備ができていました。

47 その若い支配者にとってなんという急いだ決断だったのでしょうか!なんと…どれほども彼は...を持っている必要があります...そのことを、彼はどのように行うことができるのでしょうか?[テープ上の空白のスポット—編集。]

あなたは魂と引き換えに何を与えられますか?すべてのあなたの建物、そしてあなたの後に、あなたはそれをあなたの親類が戦うためにそのすべてを残すのですが、その魂とあなたはどこに行くつもりですか?覚えておいてください、あなたは今夜から何千年もの間のどこかにいるでしょう。これがあなたが決断を下す時かもしれません。

このビジネスの何という急いだ間違いなのかに気づいてください…それが彼に証明されたとき、彼が伝統に固執しようとするのは、彼がどれほど貧しい実業家なのか、そして彼がここに永遠の命であると立証され、彼はそれについてイエスに尋ねることによって同じことを目撃したものだだったのに。

48 パウロはそれを受け入れました。私たちは彼がどのように出てくるか知っています。当時の人々のように、彼らは神の名誉ではなく、世論と人間の賛美を好みます。パウロは人からの賞賛を気にしていませんでした。彼は神からの名誉を望んでいました。

しめる少し前に、この少年を見てみましょう。彼を見てみましょう。私たちは次の場所を見つけています、つまり、この若い人、彼に何が起こったのか知っていますか?これを行うために、彼は決して貧乏になることはありません。彼は路上で乞食になることは決してありませんでした。彼は持ち物が増えました。彼はその機会を断った。

多くの場合、今日の人々は笑って聖霊をからかい、その後彼らのビジネスを続けて増し加えて行きます。ご存知のように、この表現をお許しください…しかし、彼らが笑うとき、「どうして、私を見てください!何かがある場合は、つまり、私にそれが起こったのか、何かが起こったはずなのです。」

ご存知のように、「愚か者は天使が踏みにじるのを恐れる場所に釘付きの靴を履いて歩く」ということわざがあります。

この若い支配者は実際にそれをしました。分かりますか?彼はひどい間違いを犯しました、そしてそれが彼のビジネスを決して妨げなかったことがわかります。彼は増加しました。彼はより人気を得て、より多くのものを得ました。私たちはしばらくして、彼が自分の物を入れるために新しい納屋を建てなければならないまでに、彼がとても偉大になったことがわかりました。

49 そして、教会が聖霊を断ったので、この終わりの時に、それは増加しました。そして今、あなたはエキュメニカル評議会に入ります、まさにあなたが聖書があなたがするだろうと言ったとおりです。さて、あなたはあの青年とまったく同じように、あなたは本当に「ラオデキア」であり、「豊かになりものが増えた」。

彼は教会の類似した姿で、拒絶しました。パウロは受け取った人のたぐいでした。私と今夜のあなた方がそうであるように、彼らの両方に機会がありました。

彼はものは増えました。同様に、教会も、ラオデキア時代にも物が増えてきました。そして、覚えておいてください、彼がとても人気になり、君主である偉大な人々でさえ来るまで、彼はとても偉大になりました。そして、彼は一度に素晴らしい宴会を開きました。

50 そして彼のバザーには永遠の命の契約の持ち主がいて、彼が扉で横になっていたことがわかりました。ああ、彼は彼にいくつかのパン粉を一掃するかもしれません。彼は再び機会を得ました、証人、ラザロは彼に証しをしました。しかし、彼はただパンくずを一掃しました。「オーえつと、私はこれを尋ね、この部分あるいはなんでもしようとした」ご存知ですね。それは1964年の態度についてです。「ああ、少しお手伝いします。それで大丈夫です、彼に行かせてください、ほら。」

しかし、彼はその契約を保持していました。「心の貧しい人々」マタイによる福音書の5章はそれを私たちに言います。「天国は彼らのためのものである。」

彼は商品を増やし続け、ますます人気が高まり、偉大なる人になりましたが、ついに彼の見返りが来ました。それはついに来るのです。地上で彼には大きな見返りがありました。彼には素晴らしい葬儀があったことは間違いありません。偉大な宗派の説教者が来て、おそらく彼について素晴らしい言葉を話しました。彼らは半分マストの旗を持っていたかもしれません。立派な実業家たちが彼の埋葬に沢山集まりました。しかし、聖書は「地獄で」、彼の見返りは永遠のいのちとの契約を拒絶したために来たと言っていました。

51 「彼は地獄で目を上げ、苦しんでいました。」そして、彼は大きな裂け目を見下ろしました、イエスは誰もこれまでに渡ったことがないか、これからそうするつもりはないと言いました、そして彼は永遠の命の保険契約者を、反対側で見つけて慰めていました。それらの両方。一人はそれを受け取りました。どちらにも見返りがありました。パン粉掃除人には報酬がありました。そして今、豊かだった人は乞食になります。「保険契約者が戻ってきて、私の唇に少量の水を触れさせてください。これらの炎が私を苦しめているからです。」

ビジネスマンの方々、同じ間違いをしないでください。あなたは彼らがそうであったようにあなたは死すべき人間なのです。あなたは決断しなければなりません。今、あなたの投資先を決めて下さい。確実にして下さい。「あなたの選びと召命を確かにしなさい。」一つの契約を取りなさい。

可能であれば、ほんの一瞬かもう少し見てください。エジプトの王パロを捨てたモーゼはキリストにおけるそりをそれ以上に価値あるものとしたのでした。パロは人々を泥だらけの集まりとして見ていましたが、モーゼは彼らを約束のある人々として見ました。

神の民、あなたは彼らをどのように見えていますか？

モーゼは報酬を受けました。彼の仲間たちを見て下さい。聖書は彼らを「天使」と述べていました。なんで？他の誰も彼が行った場所に彼を連れて行くことはできませんでした。彼らは彼を支える仲間たちでした。

52 今日のケネディ夫人のようにすべての女性が髪を切ったのはエリヤがいた時代にありました。彼らの顔を塗りたくった、イザベラ。王とすべての人々は世俗的になりました。教会も同様でした。そして神はエリヤと言う名の預言者を遣わしてそのことを非難されました。彼は老いて疲れたので、家に帰る準備ができていました、彼は死ぬ必要すらありませんでした。彼の報酬も来たのです、神は彼に戦車と数頭の馬を送り、そして彼を天国に連れ去りました。

サンヘドリンに立ったステパノは彼らに話しかけ、こう言いました。「ああ、心が頑なで、心と耳で割礼を受けず、契約を拒否し、常に聖霊に抵抗している。ちょうどあなたの父祖たちがそうしたようにあなた方もそうしている。」彼の死で、彼は報酬を受けました。彼は見上げたところで天が開かれ、イエスが右側に立っておられるのを見た。

53 ムーディー、約100年前の終わりの時にあたり、小さなシカゴの靴屋は、彼の名前を書くことがさえもできませんでした。新聞社がある時ムーディーにインタビューするために人を送りました。彼の働きは非常に素晴らしかったので、彼らは彼がそれを作ったものを新聞に載せて見せたかったのです。ムーディーについて、彼はどんな説教者であるのか、そしてダイナミックな説教者についてでした。それで彼らは彼らの社説にそれを書くためにインタビューをする人を送りました。そして、ムーディーは彼らが書いた後にそれを読むことさえできなかったのです、彼のマネージャーが彼のためにそれを読まなければなりません。そして彼は言いました…

これが社説の読み方です。それは、「なぜ誰もがドワイト・ムーディーの説教を聞きに行くのか、それは私が言うことができる以上のものです。」と言っていました。「まず初めに、彼は私が今まで見た中で最も醜い男で、禿げており、ひげが伸びきっています。」そして彼は、「彼は背が高いのと同じくらい太っています」と書かれていました。そして、「彼が説教しようとするとき、彼は読むことができません。そして、彼は説教し、彼の鼻を通して話し、そして唇を振るとき、うなりをあげます。」

彼が乗り越えたとき、ムーディー氏は肩をすくめただけで、いいました「そうではありません。彼らはキリストを見に来ます。」つまりそれだけだったのです。批評家がどうであろうと、彼はその契約を保持していた。

そして彼が死にかけていたとき、医者はいいました、「死が、ムーディー氏を打った」。

彼は立ち上がって言いました、「あなたはこれを死と呼びますか？これは私の戴冠式の日です。」分かりますか？彼はその契約を保持していました。

54 私の親友、ポール・レーダー。私が小さな子供だったとき、私は。私は宣教師バプテスト教会で叙階されました、そしてポール・レーダーも宣教師バプティストでした、それで、私がかつて彼の説教を、フォートウェインに聞きに行っていた時の事でした。。後に、西海岸でここに来て、多くの問題を抱えました、そしてついにその問題が病気になり癌になり死にかけていました。。彼とルークは生涯一緒に行き、私の息子と私と同じように一緒に動いていました。

それで、ポールが死にかかっていた時、ムーディー聖書研究所は4人組を送り、彼らはそこに立っていました。ポールにはユーモアのセンスがありました。そして彼は…小さな強大な…小さなムーディー聖書研究所は、この聖歌隊と一緒に、そこに送っていました、あるいはカルテットであり、彼らは「もっと近く、わが神よ、あなたに」と歌っていました。

ポールはひっくり返って、彼のシーツを投げ捨てました。彼は言いました、「私またはあなた、誰が死にかかっているのですか？」分かりますか？彼は言いました、「シェードをあげて、私にいくつかの良い元気なゴスペルの歌を歌ってください。」そして彼らは歌い始めます：

わが救い主が死なれた十字架の下で、
そこで罪が清められるために私は叫びました。
私の心にその血潮が適用されました。
主の御名に栄光を！

ポールは言いました、「私の兄弟、ルークはどこにいますか？」ルークは隣の部屋にいました。彼は兄が死ぬのを見たくありませんでした。「彼にここに来るように言ってください。」と言いました。

それで、ルークは入りました。あなた方の多くは彼を知っていました、大きなちよつと重めの人彼は中に入りました。ポールは手を伸ばしてベッドに横になり、ルークの手に取って顔を見上げました。「ルーク、私たちは長い道のりを一緒に歩んできました。しかし考えてみてください、ルーク。今から5分で、私はイエス・キリストの御臨在の中に立って、彼の義に着せられます。」彼の兄弟の手を握って、彼の契約は報われました。

55 年配のボスワース博士、それはここでの最後の時でした、私と一緒に、前回の次に、84歳で、アフリカからちよつど戻ってきました。私は、「マイアミに来て」と言う電話を受けました。私はそこに着くために、ほとんど車からタイヤが引き裂かれるところでした。「彼は死にかけていました。」と言いました。私は彼に会うために急いで行きました。私は彼が契約を持っていることを知っていました。私は行きました。

私はその部屋に行きました。小さな禿げ頭の男性、腕を、彼の細い腕をあげていました。私は彼のところに走って顔をうずめて、「わが父、わが父、イスラエルの戦車とその騎手たち！」と叫びました。彼の手を私に置いて祝福してくださいました。

私は言いました、「ボスワース兄弟、あなたのために祈らせてもらえますか？」

「いいえ」と言いました。「私は病気ではありません。」と言いました。

私は言いました、「ボスワース兄弟、どうしたのですか？」

「私はただ家に帰ります」と言いました。

私は「知っていました」と言いました。そして私は言いました、「ボスワース兄弟、お聞きしたいことがある

のです。」私は言いました、「あなたの人生とあなたのミニストリーの中で最高の時はいつでしたか？あなたは私が生まれる前から神に仕えておられました。私たちは一緒にミッションフィールドに行きました。私たちは嵐の中、空中に、海上と一緒に行きました。あなたは私があらゆる側の悪魔と魔術師を見たときに私のそばに立っていてくれました。そして、神がそこに立って彼らを麻痺させているのを見たとき、とてもスリルがありました。あなたの人生の最大のスリルは何でしたか？」

彼は「今」と言いました。彼は彼の契約を現金に決めていた。彼は言いました、「私が生きてきた全人生で、ブラナム兄弟、それはイエス・キリストでした、そして間もなく主は私を家に連れて帰るためにドアの中に歩んで行かれます。」

56 はい、それらは彼らが持っているすべてを与える契約保持者たちであり、それを高価な真珠に投資しました。今夜も頭を下げている間に投資しませんか？

聴衆全体を見ることはできません。今夜、周回しているテレビで何人が、誰がこれを見ているのかは知りません。私はあなたに尋ねるつもりです、友よ、これを無駄な言葉にしないでください。あなたは人間です。あなたは死ななければなりません。あなたはそれを知っています。そして、それはあなたの時間が来る朝の前になるかもしれません。私はあまり説得するタイプの人ではありません、と言うのは、イエスが、「父が私に与えたすべてのものが来るであろう」と言われたからです。もし今夜、心にその契約のための場所があるなら、それを受け入れませんか？その契約とはキリストであり、神があなたのために愛を捧げるといふ契約であり、御ことばがあなたの心の中で生き、あなたが彼の一部になるようにすることです。彼はみことばです。彼をあなたの命の中に受け入れてください。あなたはそれをして、この素晴らしい投資をしませんか？

私の見える限りでは、私からは約10フィート、か15フィートしか見えません。永遠のいのちの契約を受け取りたい場合は、手を挙げて下さるように尋ねます。言ってください「ブラナム兄弟、それが欲しいです。祈りの内で私を覚えておいてください。私の手は見えませんが、神は見えます。」

57 我らの天のお父様、この単純で未熟であるけれども、人生の本当の物語。主よ、私はそれをこのように話しました。なぜなら、その人々、ビジネスマンたちは、地球上でここに表されているものであるという事でそれをより良く理解するからです。それが私がそれを契約と呼ぶ理由です。私がそれをそう呼ぶことで間違っていたならば、私を許してください。なぜなら、私たちは今、本当に神聖な瞬間にいます。多くの人がここで真剣に考えていることは間違いありません。彼らがここで持っているものが何であれ、それを断るといふことの意味を理解するならば彼らもその報酬を受けるといふことを知っているからです。

さて、私が知っているように、その若者はおそらく人々にとても人気があったので、教会に留まり、戒めを守り、姦淫したり、盗んだり、それらのことをしたりしませんでした。彼自身の心の中で彼はそれを知っていました。彼には永遠の命がなかったことをです。あなたに会おうとしている人たちを、主よ、永遠の命のために、それらの道徳的な特徴だけで、今夜彼らが招待を受けて、彼らの足元にとどまり、「主よ、私がすべきことでああなたが求めることは何でもします。」と言わせてくださいますように。主よ、それを認めてください。

彼らは今、みなあなたのものなのです。私はあなたにすべてを委ねます。そして、もしその種がどこかに落ちたなら、主よ、どんな地面でも、すべてのあらかじめ定められた種が、何年もの間飢渴きを感じてきたなら、今夜どこかに落ちたかもしれません。イエス・キリストの御名によってお願いします、どうか父よ、彼らが命を受けられますように。

そして、私たちの頭を引き続き頭を下げたまま、私はピアリー兄弟にここに来て残り、礼拝の残りをとってくれるかどうか尋ねるつもりです。



伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7